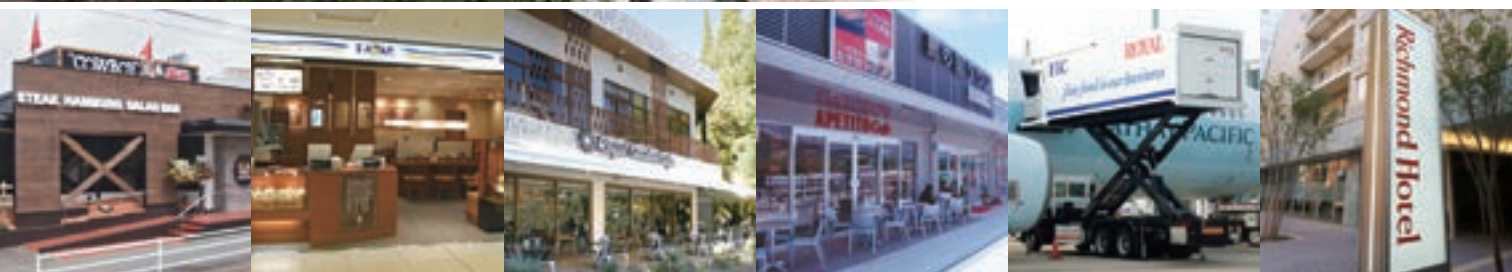




# ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社



日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループへ

## 第64期 株主の皆様へ

2012年1月1日 ▶ 2012年12月31日

### ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。  
 お客様から代金を頂くからには、  
 一、食品は美味しくなければならない。  
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。  
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、  
 社会を明るくするものでなければならない。  
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、  
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「第64期 株主の皆様へ」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、消費者の外食頻度に持ち直しの傾向が見られるものの、顧客確保のための企業間競争は激しさを増しており、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような環境下ではありますが、平成24年度は、おかげさまで5年ぶりの増収増益を果たすことができました。当社グループは、日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを目指し、中期経営計画「Fly to 2014」におきまして、増収増益の安定的継続

による持続的成長を目標としておりますが、今後も増収増益を安定的に継続できるよう、引き続き経営基本理念の実践に努めてまいります。

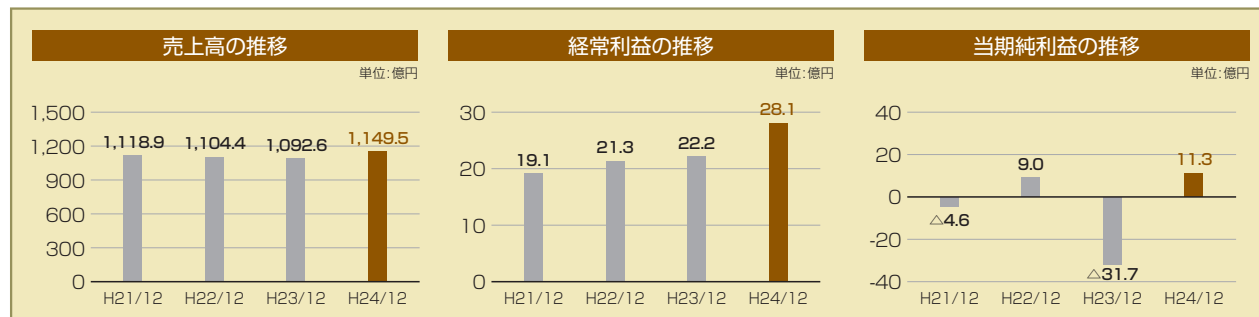
また、株主の皆様への長期的かつ安定的な利益還元を経営の基本方針として位置付けるとともに、業績や経営環境との連動を徐々に図ってまいり方針としており、この方針のもと、諸情勢を勘案し、平成24年度の1株当たり年間配当金を前期に対して2円の増配となる12円にいたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年3月  
 代表取締役社長 菊地 唯夫



### 連結決算ハイライト



当社グループでは、今後見込まれる経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、平成23年11月に持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2014」を策定いたしました。

その初年度にあたる平成24年度におきましては、「基盤固め・成長戦略の浸透」をキーワードに6つの事業戦略(①「ロイヤルブランドの再構築」②「成長エンジンの育成」③「収益基盤の拡大」④「時代対応業態の開発と進化」⑤「事業開発機能の強化」⑥「M&Aの活用・海外への進出」)と2つのインフラ戦略(①「インフラの強化とグループシナジーの追求」②「効率経営体への転換」)を骨子とした各種

経営施策を着実に進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は114,957百万円(前年同期比+5.2%)、営業利益は2,623百万円(前年同期比+21.8%)、経常利益は2,817百万円(前年同期比+26.9%)となりました。また、特別損益として受取補償金137百万円を特別利益に、閉鎖を決定した店舗等の固定資産の減損損失318百万円など総額646百万円を特別損失に計上したほか、法人税等1,128百万円および少数株主利益42百万円を計上しました。これらの結果、当連結会計年度の当期純利益は1,137百万円(前年同期当期純損失3,177百万円)となりました。

## ● 事業別の概況

### 外食事業

売上高 56,592百万円

- 「ロイヤルホスト」では、30年目となる恒例の「夏のカレーフェア」のほか、「イタリア料理フェア」「アンガス・アメリカ料理サジェッション」を実施
- 新業態「カウボーイ家族(ファミリーコミュニケーションダイニング)」は16店舗を出店、計27店舗体制に
- 海外の人気ブランド「ローズベーカー」の国内3号店を銀座に出店

### コントラクト事業

売上高 29,561百万円

- 法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設等において、多種多様な飲食業態を展開
- 医療介護施設、法人向け飲食施設、新東名高速道路、百貨店など、新規に18店舗を出店
- 高速道路サービスエリア内店舗の来客数減少が一巡し、既存店の売上が増加

### 機内食事業

売上高 7,540百万円

- 中韓両国との関係悪化による一時的な売上減少等の影響があったが、アジア方面路線を中心とした国際線への搭載が引き続き堅調に推移
- 世界の航空会社への搭載実績が評価され、新規就航路線での受注獲得

### ホテル事業

売上高 17,404百万円

- 3月に、リッチモンドホテル31店舗目となる「リッチモンドホテル浅草」を開業
- 東北地方のホテルが復興需要により高い客室稼働率を維持
- リッチモンドクラブ会員の増加とともに、高い会員宿泊占有率を維持

### 食品事業

売上高 8,801百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外向け製品を製造
- ロイヤルホストをはじめとしたグループ向け製品に加え、グループ外向け製品の生産も好調

(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

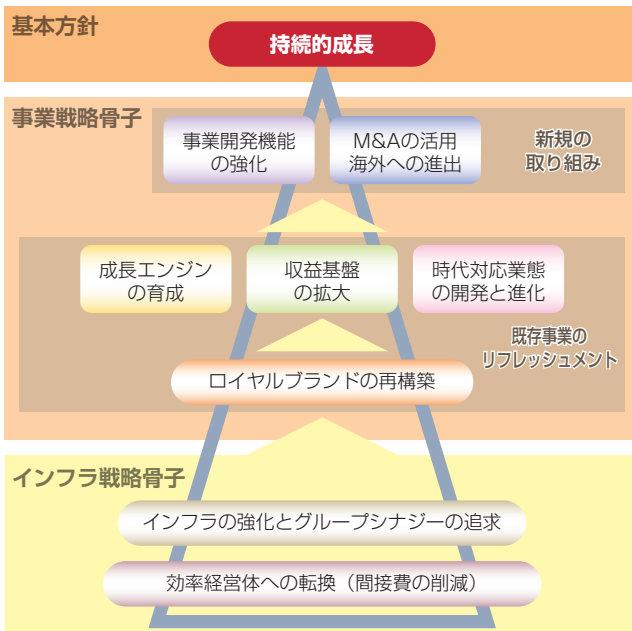
## 中期経営計画「Fly to 2014」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にシなやかに対応する日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループを目指す」というグループビジョンを掲げております。

2011年11月に策定いたしました中期経営計画は、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の中期経営計画の第一段階と位置付け、「持続的成長」「増収増益の確保」「効率経営体への転換」を柱とした施策を展開しており、2012年は「基盤固め・成長戦略の浸透」に努めてまいりました結果、5年ぶりの増収増益を達成いたしました。

中期経営計画2年目となる2013年は「成長戦略の確実な実施」、2014年は「成長路線の収束化」を図り、持続性のある成長路線の道筋を描いてまいります。

### 【基本方針と戦略骨子】



## ロイヤルブランドの再構築

### ロイヤルホストは時代とともに進化しています

ロイヤルホストは、2009年から外観視認性・居住性の向上と客席禁煙化を推進する改装を進めており、2012年末累計で180店舗(全体の約77%)の改装を終えました。また、2012年からは、多様化するお客様の嗜好の変化に対応し、料理の品質向上を目的に、最新の厨房設備の導入をスタートしました。

これらの施策の効果から、ロイヤルホストは16年ぶりに既存店売上高が前年を超えることができました。今後もロイヤルホストは、「豊かな時間が過ごせる空間」で「家庭では味わえないコックが作る料理」を提供することで、さらなる顧客満足度の向上を目指してまいります。



## 成長エンジンの育成



### 天井てんやのネットワークを全国各地に

天井・天ぷらチェーン「てんや」は、1989年(平成元年)9月に東京駅八重洲地下街に1号店を出店して以来、日本の伝統的な食文化である「天ぷら」の大衆化をコンセプトに、お求めやすい価格でありながら高品質な天井・天ぷらを提供してまいりました。

2012年から、国内におけるフランチャイズの展開に着手しておりますが、2013年はロードサイド型の店舗の出店を試み、ロードサイド型の店舗を標準モデル化していくことで、日本全国各地に「てんや」が展開できるよう進めてまいります。今後も天井てんやの基本理念である「外食業は人間業」に共感してくださるパートナーとともに、信頼のブランドを構築してまいります。



## 収益基盤の拡大

機内食事業は、外的な環境が大きく変化するなか、2012年も各エアラインから多くの表彰を受けるなど、グループの創業の事業としてぶれることのない高い顧客満足度を提供しております。その結果、受託エアライン数も毎年確実に増加し、マネジメント力の向上もあいまって高い収益性を実現しております。今後もグループの収益基盤として、高い競争力を背景に、シェアの拡大に努めてまいります。



## 新たな業態の開発と進化

2013年は、カフェ業界における新しい潮流と伝統を融合させた「スタンダードコーヒー」ブランドを立ちあげ、次代のカフェスタイルを提供します。また、高い人気を誇るロイヤルガーデンカフェを横浜と名古屋に出店いたします。

これからも時代のニーズにマッチした新たな業態の開発を行いながら、次の事業の柱となるミドルサイズチェーンの確立に努めてまいります。



# ■ 連結財務諸表（要旨）

## 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前期末	当期末	
	H23.12.31 現在	H24.12.31 現在	
資産の部	流動資産	15,481	15,883
	固定資産	62,391	60,875
	有形固定資産	34,028	34,202
	無形固定資産	943	789
	投資その他の資産	27,418	25,882
	資産合計	77,872	76,759
負債の部	流動負債	17,832	18,665
	固定負債	20,189	17,351
	負債合計	38,021	36,017
純資産の部	株主資本	39,229	39,981
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,708	23,708
	利益剰余金	4,569	5,320
	自己株式	△ 2,723	△ 2,724
	その他の包括利益累計額	13	154
	少数株主持分	607	605
	純資産合計	39,850	40,741
	負債・純資産合計	77,872	76,759

## ● 連結貸借対照表

### 資産の部

総資産は、1,113百万円減少しました。リース資産の増加があった一方で、差入保証金が1,599百万円減少しました。

### 負債の部

負債は、2,004百万円減少しました。リース債務の増加があった一方で、長期借入金が3,494百万円減少しました。

### 純資産の部

純資産は、当期純利益の計上などにより、891百万円増加しました。なお、1株当たり純資産額は、1,040円71銭（前期末から23円16銭増加）となり、自己資本比率は52.3%（前期末から1.9ポイント上昇）となりました。

## ● 連結損益計算書

売上高は、その他の営業収入を含めて114,957百万円（前年同期比+5.2%）となり、5年ぶりに増収増益を達成しました。

## 連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当 期 H24.1.1~ H24.12.31	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		
当期首残高	13,676	23,708	4,569	△ 2,723	39,229	13	607	39,850
剰余金の配当	—	—	△ 385	—	△ 385	—	—	△ 385
当期純利益	—	—	1,137	—	1,137	—	—	1,137
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	141	△ 1	140
当期変動額合計	—	—	751	△ 0	751	141	△ 1	891
当期末残高	13,676	23,708	5,320	△ 2,724	39,981	154	605	40,741

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	H23.1.1 ▶ H23.12.31	H24.1.1 ▶ H24.12.31
売上高	107,204	112,899
売上原価	33,441	35,817
売上総利益	73,763	77,081
その他の営業収入	2,055	2,058
営業総利益	75,818	79,139
販売費及び一般管理費	73,665	76,516
営業利益	2,153	2,623
営業外収益	622	707
営業外費用	554	512
経常利益	2,220	2,817
特別利益	175	137
特別損失	4,787	646
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 2,391	2,308
法人税等合計	847	1,128
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 60	42
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 3,177	1,137

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	H23.1.1 ▶ H23.12.31	H24.1.1 ▶ H24.12.31
営業活動による キャッシュ・フロー	3,725	6,038
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,497	△ 1,964
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,100	△ 4,480
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 2,871	△ 406
現金及び現金同等物の 期首残高	8,242	5,370
現金及び現金同等物の 期末残高	5,370	4,964

## 会社の概況

## ● 会社概要 (平成24年12月31日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,381名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

## ● 役 員 (平成25年3月27日現在)

## 取締役

代表取締役社長	菊 地 唯 夫
専 務 取 締 役	矢 崎 精 二
取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	黒 須 康 宏
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取締役相談役	富 永 真 理
社 外 取 締 役	末 吉 紀 雄

## 監査役

常 勤 監 査 役	浦 一 馬
常 勤 監 査 役	小 村 吾 郎
社 外 監 査 役	高 橋 信 敏
社 外 監 査 役	久保田 康 史

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された 100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3 月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」を ご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上(一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

# 株式の情報

平成24年12月31日現在

Shareholders Information.

## 株式の状況

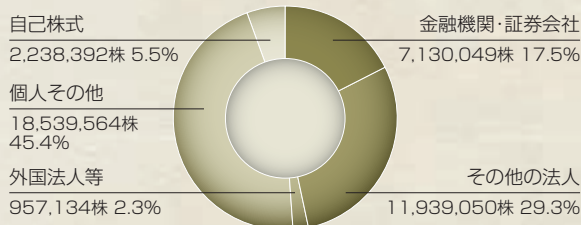
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,804,189株
単元株式数	100株
株主数	19,521名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	3,174	8.23
公益財団法人江頭ホスピタリティ 事業振興財団	2,452	6.36
株式会社ダスキン	1,400	3.63
日本生命保険相互会社	1,147	2.98
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.50
株式会社西日本シティ銀行	955	2.48
株式会社福岡銀行	833	2.16
ハンナン株式会社	692	1.80
株式会社三越伊勢丹	681	1.77
日清オイリオグループ株式会社	523	1.36

(注) 当社は、自己株式2,238千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月開催  
基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
期末配当金 毎年12月31日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先(※) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先(※) ☎0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

公告方法 当社のホームページに掲載いたします。  
(<http://www.royal-holdings.co.jp/>)

上場取引所 東京証券取引所第一部  
福岡証券取引所

### 株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・増請求等の各種手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎0120-288-324

### IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

## ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号  
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています